

日本共産党

藤本ひろしの市議会報告

新！藤本ひろしのブログ 検索窓へ 市会議員藤本博司と打ち込んでください

NO 22

2010.1.31

発行

日本共産党岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5(電話 22-2245)

市会議員 藤本博司
岩国市麻里布町1-8-27
電話・FAX: 22-3009



新年のご挨拶を申し上げます。
昨年のお衆議院選挙で、自民・公明の悪政に退場の審判が下り、民主党を中心とする政権が誕生しました。

新年の国会も開会し小沢幹事長の違法献金疑惑で幕が開きました。

岩国では愛宕山米軍住宅問題、民間空港問題、艦載機移転反対などの闘いが大きな山場を迎えます。

7月の参院選、10月の市議選で日本共産党へのご支援をよろしくお願ひします。



市議会議員 藤本博司

願ひします。



参議院議員

仁比聡平

岩国の皆様あけましておめでとございませう。この夏が改選です。がんばります。

党山口県委員

国政担当

木佐木大助

夏の参院選でがんばります。

12月議会報告

12月議会は11月30日から12月22日までの日程で開かれました。

議案では職員給与・議員報酬(手当)引き下げ、ポイ捨て禁止条例、固定資産税の税率を0.2%引き下げ、都市計画税を新設(0.2%)、岩国市組織

改組、総合体育館などの指定管理者をミスノに指定する等が可決成立。

補正予算では、新たに新型インフルエンザワクチン接種に7千8百万円、生活保護費(母子加算開始含め)約3億円増額。反面子育て応援特別手当が事業見直しで中止され1.3億円の減額等でした。

岩国基地への

核持ち込み疑惑の解明を！！

一新政権の核密約検証にあわせー

12月議会一般質問で藤本市議は、新政権が進めている核密約疑惑解明作業に伴い、かつて岩国基地に核が持ち込まれていた実態について、改めて岩国市として解明する必要があるのではないかと質問しました。

第一の段階

岩国基地での核持ち込み疑惑第一段階は、1956年から58年にかけて4スカイホークなど核兵器搭載可能戦闘攻撃機の配備と

岩国基地にも、岩国基地に危険度標識1の弾薬庫、鉄条網で二重に囲まれている弾薬庫の存在が明らかになったことです。

第二の段階

第二段階は基地沖に水爆を積んだ上陸用舟艇が1959年から7年間岩国沖に核爆弾B28を積んで、いつでも陸揚げできる態勢をとっていたことです。この時期に、岩国沖に兵空母が16隻も集中的に寄港しています。こ

の事実を米元国防相職員であったエルズバーク博士が証言しました。

1987年4月当時のライシャワー駐日大使も事実を認め、69年夏速やかに撤去しようラスク國務長官に進言したと、後に証言しています。

第三の段階



第三段階は1973年から10年間岩国基地にMWWU-1という核兵器専門部隊が駐留し、この間の1976年に岩国基地に172人の核兵器取扱要員がいたことが米軍の内

部文書で明らかになりました。

1979年日本共産党の不破哲三書記局長(当時)がクリティカル、リミテッド、コントロールの3段階に厳密に区別された核兵器取扱要員の存在を国会で追及しました。藤本議員はこうした疑惑を解明するよう求めました。

国の説明なければ
上京することも

ー市長ー

まず、国は責任を持つて関係の自治体へ説明があるべきで、もしなければ私のほうから出向いて内容を聞くということもやぶさかではない。

朝鮮有事密約

朝鮮有事時米基地出撃

岩国は朝鮮戦争時に出撃基地になりました。「朝鮮有事に在日米軍基地を自由に使用できる」との密約の存在は、市民の生命が危険にさらされま

春の市内大手高校 新卒採用は 3社で10名だけ!

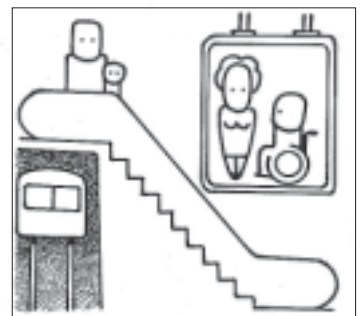
戦後最悪の雇用情勢の中で、新卒高校生の内定状況が厳しいと聞いていますが、どうい

市内大手の採用予定は新日本石油、東洋自動機、旭興産の3社で10名と岩国市役所が7名という状況でした。

藤本議員はまだ就職が決まっていない人が80人もいると聞いているが最大の日本製紙は求人はないかと質問。採用なしと回答でした。

大手企業は社会的責任を果たすべき

体力のある大手企業は内部留保の一部を取り崩すだけで、雇用を守ることは可能です。市内大手企業を訪問し、高校生の就職確保に努力するよう求めました。市長は一度といわず何度でも歩きたいと回答しました。



岩国駅のバリアフリー化と 周辺整備計画は?

岩国駅は階段なので利用できなくタクシーで和木駅まで行きJRを利用しておられる方もいます。どうい

「基本計画で岩国駅自由通路、駅舎のバリアフリー化、駅東西駅前広場の整備を主な事業として位置づけている。」

「平成20年度から国の補助を受け調査、計画の策定に取り組んでいる。21年10月から交通戦略協議会を設置し検討している。」としてまだ具体的案はまとまっているわけではなく(担当理事は26年27年には完成の見込みと言っています。)

地下道自転車用スロープ改善を!

駅地下道の傾斜の改善を求めました。

福田市長が答弁に立ち、「地下道自転車用スロープの改善については、東西自由通路は歩行者専用とし、地下道については、交通戦略会議で結論を出すと答えました。(駅舎完成後地下道のスロープ化に取り組む方向はあるようです。)

陳情窓口の民主党への一本化に反対

政府が直接国民の声を聞くことを求める意見書

12月議会で保守系会派から「国として直接地方の声を聞く仕組みを保証することを求める」意見書が出されました。新システムは政・官・業の癒着の構造を断ち切るた

めといたします。しかし、多様な国民要求を、すべて小沢幹事長に集中し、これを通さないルートは認めないと言うのは国民の権利を制限することになるとして賛成。

市民生活部を新設することにより、市民要求を各担当部局に回すだけでなく、この部署が弁護士、税理士なみの専門知識を持ち、相談力を持った部署にせよと求めました。将来はそういう方向も展望して、機構改革に取り組みたいという答弁がありました。

岩国市機構改革
部課再編
市民生活部を新設



基地対策課を基地政策課に変更するも!
国言いなりにならないために、岩国市に基地問題で専門知識を持った職員の配置はあるのかと質問しましたが、担当部長は「増員は考えていない」と消極的な答弁で、従来通りのやる気のなさを示しました。

沖縄名護市長選 新基地建設反対派の市長が誕生
1月24日投開票で行われた沖縄県名護市の市長選挙で新基地建設反対を主張する稲嶺進さんが当選しました。
選挙の結果新基地建設は事実上困難だろうといわれています。
再編計画やり直せ、基地はいらないの声を広げていきましょう。

愛宕山買取、民間空港予算(案)に怒りと失望広がる!
新政権の誕生で岩国市民は、米軍再編計画、愛宕山への米軍住宅の建設計画の見直しなど期待を寄せていました。しかし、再編関連費199億円で愛宕山を買い取るという決定に怒りと失望の声しきりです。